

近畿ブロック研修大会和歌山大会報告

近畿ブロック長 成瀬 憲弘

平成29年11月17日(金)、第55回近畿公立学校教頭会研修大会和歌山大会を和歌山県立文化会館にて開催いたしました。本大会は、第11期全国統一研究主題に添い、『豊かな人間性と創造性を育み未来を拓く学校教育』～キーワード 自立・協働・創造～の1年次の取り組みとして開催いたしました。好天にも恵まれ、近畿2府4県から会員1,368名が一堂に会し、無事、成功裡に終えることができました。



全体会の記念講演は、「稲むらの火の館」の館長 崎山光一先生を講師にお招きし「稲むらの火・濱口梧陵に学ぶ防災教育」という演題でご講演をいただきました。

西暦1,400年頃から、広村で起こった地震や津波について、古い絵地図などの歴史的な資料をもとに、濱口梧陵がとった「人を助ける」「助かった人々の生活を守る」という偉業について教えていただきました。和歌山県南部地域では、半数以上の学校が社会見学等で「稲むらの火の館」を訪れ、防災学習を行っています。和歌山県全域では、11月5日の世界津波の日に合わせて、避難訓練を実施しています。稲むらの火の館が防災教育の拠点となり、今や県、全国だけでなく世界にも広がっているとのことでした。

また、東北大震災などの他県の被災状況や取り組みも紹介していただき、「地域の過去の災害を伝承し、歴史から対策を考える。」等、これからの学校が取り組むべき方向性を示していただきました。

午後は課題別に5つの分科会に分かれ、提言発表・研究討議が行われました。

【第1分科会】「教育課程に関する課題」

- 児童が「ソフト・ランディング」できる教育課程づくりをめざして
- 上富田町における小中高の学校間連携～校種を超えた交流から地域へ～

【第2分科会】「生徒指導に関する課題」

- 京都市立中学校の生徒指導体系～関係機関との連携を通して～
- 「確かな児童理解と信頼関係づくり」

【第3分科会】「組織運営に関する課題」

- 組織運営の活性化における教頭の役割～小中一貫教育校の設立に向けた取り組み～

【第4分科会】「人間尊重の教育に関する課題」

- へき地小規模校における地域性を活かした小中連携～小中一貫校設立に向けて～

【第5分科会】「教頭の職務に関する課題」

- 「保護者と地域の力を活かした学校づくりに向けて」～保護者・地域・学校をつなぐ教頭の職務と課題～



府・県が違っても、悩んでいる問題は同じであるということがわかりました。また、解決策のヒントになる意見もありました。積極的に意見交流がされていて、大変有意義な分科会でした。